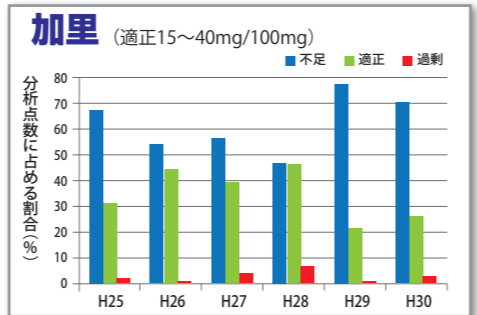
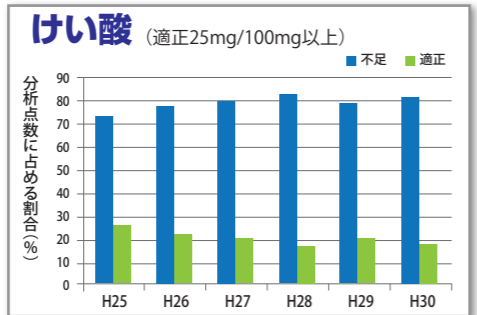
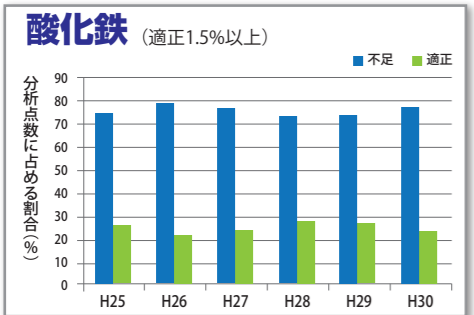


島根の農家さんの 声から生まれた! 新たな 土づくり肥料



JAしまね管内の土壌診断結果 <分析点数> H25年~H30年 合計4,258点



※分析点数に占める割合 ※全農広域土壌分析センター広島分析データ抜粋 ※土壌診断基準値を参考に作成

鉄効果

遊離酸化鉄は水稻の根を硫化水素から守る働きがある。

不足すると

土壌に硫化水素が発生しやすくなり、根腐れの原因となる。根腐れが起これば、いわゆる「秋落ち」が生じる可能性が高くなる。

鉄に守られた健全な根

守られていない根ぐされした根

赤枯れ ござ葉枯れ病

けい酸効果

稲がしっかり立つので光を受けやすくなり、光合成が盛んになり、稲が強く強くなるので、病気や害虫の被害を受けにくくなる。

不足すると

稲体が弱くなり病気や害虫の被害を受けやすくなります。また、水の蒸散量が増え気孔を閉じてしまうので、光合成が低下します。高温などの異常気象時には、乳白米や腹白米の発生を助長します。

加里効果

登熟期に葉で生成される光合成産物を穂に運ぶ、茎葉の水分を保ち、強健にする(冷害抵抗性)などの働きがある。窒素が多いほど必要量も多くなる。

不足すると

窒素要求量が最も高い、最高分けつ期と幼穂形成初期に、加里欠乏がおきやすい。加里が欠乏すると下葉に含まれる加里が上葉に転送され、下葉に赤褐色の斑点が発生したり、根の活力が衰える。

土壌診断結果から、鉄・けい酸・加里の顕著な不足を確認

《原因》河川などからの天然供給量の減少や稲わらの持ち出しの増加、土づくり肥料投入量の減少など…

JAしまねでは、土壌診断の結果から 省力・高品質な土づくり肥料「田んぼの守」の 開発をしました。



保証成分(%)

リン酸	加里	アルカリ分	けい酸	苦土	マンガン	ホウ素
3.0	3.0	24.0	20.0	4.3	2.6	0.07

含有成分(%)

酸化鉄	亜鉛	銅	モリブデン	けい酸 (保証成分を含む)
20.8	0.03	0.02	0.002	21.8

※自社分析例

土づくり肥料の特徴

土壌に不足する「鉄分」・「けい酸分」・「加里分」を効率よく省力的に補えます。硫化水素を無毒化する効果のある鉄を多く含み、マンガンとの相乗効果により稲の健全な生育に役立ちます。土壌診断の結果を基に、水田に不足しがちな養分を効率的に補う事のできる総合的な土づくり肥料です。



★肥料試験調査結果★

試験場所：島根県
作物：水稻(コシヒカリ)
施肥量：60kg/10a
試験結果：対照区に比べ、根量の増加が確認された。

対照区

田んぼの守区

根量が増えている

管内に不足している成分が従来の土づくり肥料より省力的に施肥できるように設計された「田んぼの守」を活用して理想的な土づくりを目指しましょう!